

福島連帯キャラバン報告書

全港湾日本海地方七尾支部 川江建太

3月4日から3月7日まで福島連帯キャラバンに参加してきました。初日に決断式を行い東北地方の方から原発事故時の説明と現在の東北の状況についてお話しをしていただきました。2日目には実際に原発事故後入ることができなくなった津島地区の家の見学を行いました。事故後自分の家に入ることも出来ずに住む場所を無くし、たくさんの方が仕事も減りやっと帰れるようになった時には自分の家には動物が住んでいてもう住むことができなくなってしまったと言っていました。

伝承館では原発事故当時の映像や家族を探している方の写真などメディア報道がされていない部分も見えました。福島原発事故から15年となり今年卒業する中学3年生が最後の原発事故を知る世代になるとの話がありました。しかし現地では15年経っても復興していない部分があり絶対に風化させてはいけないと思いました。

今回福島連帯キャラバンに参加して現地の声を聞きより原発のない社会の実現に向けて周りに伝えていきたいと思いました。